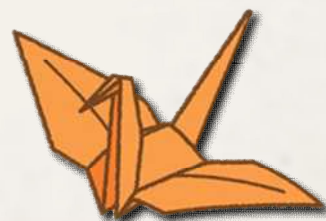


認知症であっても、ずっと住み慣れた地域で暮らせるように

希望の折り鶴プロジェクト 始動!!

希望の折り鶴プロジェクトとは

認知症の方や地域の方、認知症サポーター等からなる『チームオレンジ』が、自宅や施設などそれぞれの場所に居ながら折り鶴を作り『人と人がつながり続けていることを表現』した折り鶴アートとして、制作しているものです。



はじまりは、本人の声から…

「母にならって、趣味で折り鶴を作っているの」
「誰か欲しい人がいたら、あげたいなと思って」
このプロジェクトは、ご本人から『好きで続けていること』や『その思い』を聞かせてもらったことにより、形となって生まれた新たな取り組みです。

地域で支える応援団 『チームオレンジ』

認知症サポーターや地域の方などがチームとして活動し、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせるよう、認知症の方の『できること』、『やりたいこと』を応援するボランティアのチームです。

人と人とのつながりを大切にしながら、少しずつ活動を広げています。



大切にしたい思い

認知症は誰にでも起こりうる身近な病気です。

もし、あなたや大切な人が認知症と診断されたら、どんな生活になるだろう？と不安に感じるかもしれません。

チームオレンジは、そんな不安を和らげ、前向きに生活していくための応援団です。

認知症であっても、『できること』はたくさんあります。

チームオレンジは、認知症の方の『できること』を大切にし、それを活かせる機会を一緒に探していきます。

お問い合わせはお気軽に

登別市保健福祉部健康長寿グループ

電話番号

0143-57-1075

メールアドレス

kenkochojyu@city.noboribetsu.lg.jp